

子どもの居場所を考える

子どもによりそい続ける 地域の居場所のつくり方

創造アトリエあぶりこつと(大川理恵代表)主催の「子どもによりそい続ける 地域の居場所のつくり方」は3月19、20の両日、文化センターで開催されました。

このイベントは、社会資源や支援者の不足など子どもの居場所づくりの現状を共有し、みんなで居場所をつくりたいとの思いから企画されました。両日とも、静岡県在住で、父が松山市出身というNPO法人ゆめ・まち・ねつとの渡部達也さん・美樹さんを講師に迎え、講演を実施。初日には岡本町長も参加しました。参加者は、積極的に意見を交わし、地域での実現に向け考えを深めていました。



④多くの質問が寄せられた ⑤笑いあり、涙ありの講演をする渡部夫妻



息の合ったペアプレーで熱戦

松前町ひまわり杯(水口杯) ダブルス卓球大会

第4回松前町ひまわり杯(水口杯) ダブルス卓球大会は2月14日、松前公園で開かれ、男女240人、60チームが熱戦を繰り広げました。

試合の合間には、全国で活躍する時吉佑一、内田康裕、高橋結女の各選手が「プレミアムレッスン」を行い、参加者は技を磨いていました。

結果は次の通りです(敬称略)。

▶1位グループ①フェニックス(上田達弥、武田祥吾、山地理沙、高橋結女)②つばき愛卓会(内田康裕、矢野敬之、兵頭裕文、渡部敦子)③スカッシュA(時吉佑一、三宅哲雄、太田和文、児玉奈々子)④宇和島クラブ(山崎翔、兵頭剛、篠崎慎一郎、兵頭奈央)▶2位グループ①さつき会B(戒晃史、加藤広敏、守谷夏子、細川美智恵)②アイノス(山崎純平、二宮朗憲、櫻田紘也、森田那由)▶3位グループ①PST A(村上徹郎、峠一朗、有木和彦、保田富子)②くるみA(小林雅夫、中川孝次、荒木義則、谷崎明美)▶4位グループ①ミラクルゆり(北川寛、佐々木美保、堀井邦子、中野真由美)②ミラクルひまわり(武井明、大本守也、青井志津子、大本知子)



1位グループ優勝のフェニックスの皆さん

スポーツ少年団が交流

スポーツ少年団交歓会・卒団式

「平成27年度第2回スポーツ少年団交歓会」は3月5日、松前公園で開催され、松前、北伊予、岡田校区のスポーツ少年団が交流試合を行いました。

競技はミニバスケットボールとソフトボールの2競技を実施。団員たちは、日ごろの練習の成果を発揮しながら、競技を通して他チームとの交流を深めていました。

また、この交歓会は、6年生にとってはスポーツ少年団としての最後の試合となったため、卒団式も併せて行われました。



どの試合も白熱した ④バスケットボール ⑤ソフトボール

< 試合結果 >

ソフトボール	優勝 北伊予	ミニバス 6年	優勝 北伊予
	準優勝 岡田	5年以下	準優勝 松前男子
			優勝 岡田
			準優勝 松前男子

通いなれた学舎巣立つ

卒園式・卒業式

町内の幼稚園では3月18日に、小学校では3月24日に、中学校では3月17日に、卒園式・卒業式が行われ、卒業生は思い出の詰まった学舎(まなびや)を巣立っていきました。



1_ 保護者と在校生に見守られながら、堂々の入場(岡田中) 2_ 「セリフをいっぱい覚えてね」思い出を振り返りながら卒園証書を授与(古城幼稚園) 3_ 1人1人、小学校の思い出をかみしめながら卒業証書を受け取る(松前小) 4_ 卒園証書を笑顔で掲げる(松前幼稚園) 5_ 答辞「できればこの答辞を永遠に読み続けたい」涙を浮かべ、別れを惜しむ(北伊予中) 6_ 別れの言葉。「さようなら、さようなら、さようなら」(岡田小) 7_ 合唱「旅立ちの日に」飛び立とう、未来信じて(北伊予小) 8_ 「先生、ありがとうございました」先生に駆け寄り感謝の思いを伝える(松前中)



防災のちびっ子リーダーが卒団

松前町少年消防クラブ卒団式

「松前町少年消防クラブ卒団式」は松前、岡田、北伊予の各小学校で行われ、37人の消防クラブ員が卒団しました。消防クラブ員は学校内の防災リーダーだけでなく、地域や家庭のリーダーとしても活躍し、防火意識の啓発に努めました。

▼3月1日 松前小学校



▼3月3日 岡田小学校



▼3月4日 北伊予小学校





①ゴールで待つお母さんのもとへハイハイする赤ちゃん ②自由な発想で秘密基地をつくる子どもたち ③相談コーナーの様子

親子の交流を深めよう

家族でスマイル! kidsタウン in まさき

まさき町笑顔の種 花ひらくプロジェクト「家族でスマイル! kidsタウン in まさき」は3月19日、エミフル MASAKI で行われ、大勢の親子連れが訪れました。

イベントでは、「赤ちゃんハイハイレース」を実施。約100人の赤ちゃんがゴールで待つお父さんお母さんのもとへ、一生懸命ハイハイをしました。しかし、途中で動かなくなってしまう赤ちゃんや違うお母さんのもとへ行ってしまう赤ちゃんなどもあり、会場は多くの声援と笑顔に包まれました。

その他、ダンボールを使って秘密基地を作る「キッズ工作王国」のコーナーや、親子で紙粘土によるお弁当作りを楽しむ「親子ミニ教室」のコーナーもあり、来場者は親子の交流を深めたほか、子育て相談コーナーやミニ講座などで、日ごろ子育てをする中で不安に感じていることなどを相談していました。



④東北の物産販売 ⑤募金活動をする子どもたち ⑥森のジオラマ

3.11を忘れない

東日本支援フェスタ 2016

松前町ボランティア連絡協議会は3月6日、福祉センターで「東日本支援フェスタ 2016」を開催しました。

このフェスタは、東日本大震災の被災地を支援しようと、震災が発生した3月11日を前に毎年開催されているものです。当日は、フリーマーケット、宮城県女川町の物産販売や東日本写真展のほか、「森のジオラマ」を作成。松前町の砂や石を用いて東北地方の自然豊かな森を表現し、メッセージと共に被災地へ届けました。また、非常持ち出し品についての講座やAED講習などのコーナーもあり、参加者は防災意識を高めていました。

さらに、会場の外やエミフル MASAKI では、町内の小中高生のボランティア約120人が、募金活動を実施して、支援を呼び掛けました。

今回のフェスタの収益金は、義援金として寄付されました。

安全安心な地元のお米を多くの人へ

「にこまる」贈呈式

JA松山市(森映一・代表理事組合長)と岡田・松前うまい米づくり部会(豊田年秋・部会長)は3月7日、「にこまる」100キログラムを町に贈呈しました。

今回のにこまるは、高温でも品質や食味がよく、農薬や化学肥料の使用が通常の5割以下のお米です。学校給食でも使用されています。「安全安心な地元のお米」をより多くの人に味わってほしいとの思いで贈呈されたお米は、松前町保健栄養推進協議会と松前町お魚ママさん協議会に配布。町民の皆さんの食育事業に役立てます。



町内の名人が集結

第8回まちづくり演芸名人会

町文化協会主催の「第8回まちづくり演芸名人会」は2月28日、文化センターで開かれました。

名人会には、町内から13組が出演。ダンス、民謡や伊予万歳など、さまざまな名人芸を披露しました。さらに、岡本町長が詩吟を詠んだほか、特別ゲストで西高柳出身の桂三幸さんが落語を披露するなど、名人会に花を添えました。

会場に集まった観客は、バラエティに富んだ名人芸を見て、楽しんでいました。

白石前町長が町へ寄付

大規模災害対策基金へ

前松前町長の白石勝也さんは3月10日、町の大規模災害対策基金へ寄付しました。

このお金は、1月に亡くなった妻佳代子さんへの香典の一部です。「寄付は前々から奥さんと話していました」と話す白石さんは、香典返しという形ではなく、寄付することで町のために役立ててほしいとの思いから、基金への寄付を行いました。寄付を受け、岡本町長は「2人の志を受け止めて活用していきたい」と話していました。




伊予医師会・伊予歯科医師会と連携

「災害時の医療救護活動に関する協定書」合同調印式

「災害時の医療救護活動に関する協定書」合同調印式は3月17日、伊予市総合保健福祉センターで行われました。

この協定は、大規模災害時に伊予医師会・伊予歯科医師会の応援により、迅速かつ的確に医療救護活動を行うために締結されたものです。両医師会の管轄となる伊予市・砥部町と3市町合同で締結しました。あいさつで、河辺憲郎伊予医師会会長は「この協定を機に伊予地区の市町や関係機関との連携を密にしていきたい」と話していました。

町政懇談会スタート

南黒田地区で初開催

町長と地区住民が松前町のまちづくりについて話し合う「町政懇談会」は3月16日、南黒田地区を皮切りにスタートしました。

この懇談会は、昨年の12月に岡本町長が就任したことに伴い、新町長の下で行われるまちづくりを知ってもらうとともに、町民の皆さんの生の声を聞くために開催されたものです。

約50人が集まった南黒田地区の町政懇談会では、「南黒田工業団地の誘致はどうなっているのか」「防災士の養成について」「小学生に日本の文化を知ってもらう機会を増やしてほしい」という話など、幅広い分野から積極的な議論が行われました。

4月以降も、各地区で町政懇談会を開催していきます。開催にあたっては、回覧板などで皆さんにお知らせしていきますので、ぜひ参加してください。



④町が目指すまちづくりについて話す岡本町長 ⑤住民からも積極的な意見が出された ⑥多くの住民が集まった会場



みんなで楽しく「ひな祭り」

白鶴保育所「ひな祭り集会」

白鶴保育所で3月3日、ひな祭り集会が行われました。

集会では、ひな祭りの歌を歌ったり、ゲームをしたり、ひなあられを食べたりして、楽しい時間を過ごしました。さらに、給食ではひな祭り寿司を食べて、みんなで健やかな成長を願いました。



④ひな祭り寿司 ⑤ひな人形に見守られゲームを楽しむ子どもたち




林祐哉さんが角界入り

町長に佐渡ヶ嶽部屋入門を報告

本町出身の林祐哉さんは2月22日、佐渡ヶ嶽親方と共に町長を表敬訪問し、同部屋入門を報告しました。

林さんは、昨年10月に本町で行われた「大相撲松前場所」をきっかけに同部屋へ入門を決意。高校総体県大会では柔道「100キログラム超級」の部で優勝を果たしており、小学校からの柔道経験を生かした活躍が期待されています。

入門前に林さんは、「5年以内に十両になることが目標」と力強く話していました。